

胃X検査検査について

受診の際のご注意

1 食事:検査前日の夜9時以降から検査終了まで食事はしないで下さい。

- *水は就寝まで飲んでも差し支えありません。飲酒は避けてください。
- *検査当日は、水は2時間前までに200ml以内なら飲んでも差し支えありませんがお茶・コーヒー・牛乳などの飲食は避けてください。
- 検査終了までは、タバコも控えてください。

2 薬:検査当日の内服について

- ***糖尿病の方・・・受診前は薬の服用やインスリン注射はしないで下さい。**
(低血糖になる危険があります)
- ***心臓病・高血圧の方・・・薬は検査開始2時間前に、200ml以内の水で必ず飲んできてください。**
- *それ以外の薬は検査後にお飲み下さい。
- *薬の服用等について不安のある方は、かかりつけ医などにお問い合わせください。

3 検査の方法:バリウムを使用した胃X線検査です。

- *初めに発泡剤とバリウムを飲みます。検査終了までゲップを我慢してください。
- *胃の粘膜にバリウムを付着させるため、撮影台の上で体を左右に動かしたり回転したり、頭部を下げるなどの体位があります。胃がんの早期発見には良い胃X線写真を得ることが不可欠です。ご協力をお願いします。

下記の方は検査を受けられません

- ①妊娠中及び妊娠してと思われる方
 - ②バリウム製剤に対しアレルギー(じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなるなど)既往歴がある方。
 - ③過去2か月以内に大腸ポリープ切除された方。
 - ④過去一年以内に開腹手術や整形外科の手術をされた方。
 - ⑤腸閉そくの既往がある方。
 - ⑥腎臓病(人工透析)などで水分制限を受けている方。
 - ⑦過去1年以内に心筋梗塞や脳梗塞等の疾患を発症したことのある方。
 - ⑧バリウムのコップをご自分で持ってお飲みになれない方。
 - ⑨自力で立位を保持することや、撮影台の手すりを自分でつかむことが困難な方。
 - ⑩技師の指示に従ってスムーズに動くことが困難な方
- 胃を手術した方は、胃カメラをお勧めします。
胃・十二指腸・大腸の治療中または経過観察中の方は、かかりつけの医療機関での検査をお勧めします。

***当日の体調や問診により、バリウム検査を受けられない場合があります。**

バリウム検査安全基準簡易一覧

消化管疾患	腸閉塞、腸ねん転の既往	原則的に不可、ただし主治医の許可あれば可
	炎症性疾患	潰瘍性大腸炎、クローン病の治療中は不可
	上部消化管疾患	潰瘍、急性胃炎の治療中は不可
	消化管手術の既往	手術後1年以内は不可、定期受診を要する場合も原則不可ただし主治医の許可あれば可
	大腸憩室	憩室炎なければ可
	便秘	3日間排便なければ不可
	下痢	炎症性腸疾患、感染性腸炎が疑われる場合は不可
循環器疾患	虚血性心疾患	1年以内に発作があった方は不可
	心不全	水分摂取制限のある場合不可
	心疾患術後	1年以内に手術した方は不可
	ペースメーカー	可
	高血圧	180/110mmHg以上は不可
呼吸器疾患	喘息	発作時は不可、頻繁に発作がある場合も不可
	呼吸器疾患	在宅酸素療法の方は不可
	手術の既往	1年以内に手術した方は不可
脳血管障害	脳血管障害	1年以内に発作があった方は不可
	頭部手術の既往	1年以内に手術した方は不可
	脳圧亢進でシャント中	可
	認知症	理解困難がある場合不可 (検査時、指示通りに動けない場合不可)
運動障害	麻痺、疼痛など	体位変換が困難な場合不可
	手術の既往	1年以内に手術した方は不可
	椎体、じん帯など治療中	体位変換が困難な場合不可
	体型	135キロ以上の場合安全を確保できないため不可
腎疾患	透析中	不可
	慢性腎疾患	水分摂取制限のある場合不可
糖尿病	インスリン	検査当日使用した方は不可
	経口血糖降下剤	検査当日服用した方は不可
その他	妊娠またはその可能性	不可
	誤嚥の既往	既往がある方は不可
	アレルギー	バリウム、発泡剤でアレルギーがある場合不可
	メニエール病	当日の状態で判断
	高度難聴	安全を確保できない場合不可
	食事摂取	不可
	飲水摂取	2時間前まで200ml以内の水であれば可